

## 下呂農林事務所の普及活動状況 令和8年2月28日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■下呂地区指導農業士会 新規就農者らが一同に集う

2月5日に、指導農業士会（会長：小林豊）は青年農業士会と共催し、「下呂地区担い手交流会」を開催しました。

会には、過去5年以内の独立就農者を始め47名が参加し、交流を深めました。第1部では、今年の就農者へ「清流の国ぎふ農業担い手証書」の授与や、先輩就農者2名による、農業への思いや後輩たちへのアドバイスなどの発表が行われました。また、下呂市長や県農政部次長から激励の言葉が送られました。

指導農業士会では、農業を志す若者の研修受け入れを積極的に行っており、農業普及課では、担い手育成と地域活性化を支援していきます。

(地域支援係)



【担い手証書授与の様子】

#### ■下呂地区青年農業士会 先進農家視察及び意見交換

下呂地区青年農業士会では、会員の共通課題である農業経営に主眼を置き、昨年度から積極的に地区外の先進農家への視察研修を企画、開催しています。

2月26日には、美濃加茂市の「(有)春見ライス」と、川辺町の「ひびの農園」を訪問し、労務管理や従業員のモチベーション向上、地域との関係づくりについて意見交換を行いました。両事業者からは、日頃の経営の工夫や取り組みについて具体的なお話を伺うことができました。

参加者からは、「時代に合わせた労務管理体系の構築に感銘を受けた」「自分の経営にも取り入れたい点が見つかった」「担い手育成に向け、農業者自らが組織をつくり活動を継続している点が素晴らしい」といった感想が寄せられました。

今回の研修は、参加者自身の経営改善につながるだけでなく、次世代の担い手育成の参考となる、大変有意義な機会となりました。

今後も農業普及課では、会員の要望に応え、より充実した青年農業士会活動を支援していきます。

(地域支援係)



【先進農家視察の様子】